

授業改善等に関する報告書（2024年前期）

授業アンケートへのフィードバック

平成 28 年度より、学内で使用されている LMS (Lerning Management System) manaba 上で学生が回答した授業アンケート内容に対し、教員がコメントする形式を採っている。

次ページ以下に、それらの「授業アンケートへのフィードバック」をまとめて掲載し、授業改善等に関する報告とする。

[2024 (前期) 人間社会学科 現代社会学科] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
アントレプレナーシップ論	児玉 充	現役の起業家からの講義も含め受講生の皆さんにとってより興味深いコンテンツを提供できるように努めます。
イノベーション論	篠崎 香織	オンデマンド授業は、コロナ初年度の2020年ぶりだったので、いかに履修者の皆さんが積極的に参加できるかを一つの課題として臨みました。理論と実践をほどよい配分で実施できたこと、履修者が他の履修者の様子（アイデアや考えなど）を知ることができる状況にしたこと、この二点が重要であることが、皆さんからのコメントでわかりました。半期お疲れ様でした。ありがとうございました。
キャリア・デザイン論	吉田 雅彦	<p>キャリア形成理論と業界研究の手法について、かなり高度な内容まで踏み込みました。情報量も多かったと思いますが、ほとんどの受講生が理解して自分のキャリアを考えることができました。受講生から授業の狙いを受け止めた以下のようなコメントをいただき、授業の工夫に努力してきたので嬉しいです。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 自分のキャリアを考えることができた。多数自分の人生設計をする必要性を感じた。 2. 女性のキャリア 企業の業種についての理解や、女性のキャリアを考えるための考え方が身についた。 3. 業界や職種、就活に関する知識が身についた。 自身のキャリアについて考える機会が増えた。就活に関する知識が身についた。 4. 企業分析の力が身についた。 企業について分析する力が身についた 5. 授業の進め方で良かったこと 外部の人が来て授業してくださったことが良かった。 質問を掲示板で丁寧に回答してくださっていてよかった。 この授業では就職後の自分をイメージするために必要な知識を沢山学ぶことが出来ました。また、先生も細かいところまで教えてくださるので興味深く、楽しく授業に参加することが出来ました。とても、為になったと思います。ありがとうございました。 とてもやりやすくてわかりやすい授業であった。知識が広がったと思う 6. 良くなかったこと 終盤の機械系や工業系の業界説明は全く興味のない分野であったためあまり面白くなかった。 ← どんな仕事に就いても、終盤のICT・AIは使います。食わず嫌いをしないで学びましょう。 教科書を読んでいるだけで説明としては退屈だった。授業では他に資料や動画を投影するなど授業に出る価値を提供して欲しい。 ← 工夫します。
コミュニケーション概論	高木 裕子	<p>渋谷キャンパスで最も大きい教室だったこともあり、声が聞き取りにくかったということがあったようですので、マイク調整とハウリングしないように、まずはうまく機械操作するようにします。また、授業資料での文字の大きさにも配慮し、できるだけ手元に残せるようにします。尚、その日の授業内容の目的や何をやったかは、必ず最後に口頭で示しているので、それを是非とも聞き逃さないようにしてください。これも双方での円滑なコミュニケーションを図る方法です。片方だけが相手に合わせるのではなく、お互いに調整したり、歩み寄る方法も模索していきましょう。最後に、授業中、教室温度を実にうまいタイミングとサインで示してくださった方、また、私に非言語メッセージで伝えてくださる方もいて、感謝です。このようにして頂ければ、どの授業を受けても面白く、良くなるはずで、双方のコミュニケーション次第で、授業は良くなるものですよ。</p>
ソーシャル・デザイン・プロジェクトB	標葉 靖子	<p>授業では、イノベーションや社会的課題解決が求められる分野・現場で実際に活用されているデザイン思考やシステム思考などのフレーム・技法を知り、体験することを重視しました。またアイデアを社会に実装していくにあたって求められる視点についても必ず取り入れるようにしています。自らのアイデアを社会で実現していくためには、段階的により多くのステークホルダーを巻き込んでいく必要があります。本授業で扱った枠組みや考え方はそうした場面で必ず役立つと思いますので、忘れずに日頃から実践しててください。</p>
データベース基礎	竹内 光悦	<p>おおむねポジティブ意見でよかったです。次年度から新カリキュラムでの実施でもあり、少し変更を考えています。何かありましたら連絡ください。</p>

[2024 (前期) 人間社会学科 現代社会学科] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
フィールドワーク論	門林 道子	2024年度の授業は昨年度に比べると履修者が19名から41名と倍増し、質的調査法の実習を伴う講義であるゆえに、フィールドワークの実践、それに伴う全員の学生が授業内での発表を公平に行えるための時間配分等に配慮したかたちとなりました。欠席率も少なく、課題はきちんと提出する、発表も毎回全員がしっかり行えるかたちで最後まで進めることができ、担当者としても気持ちよく授業を終えることができました。今回のアンケート結果にもそれらが反映されているように考えています。この授業に意欲的に取り組み、自己の成長を実感し、総合的にこの授業をとってよかった、と履修学生がとらえてくださったことが認識でき、うれしく思っています。ここで実践し、学びえたフィールドワークの方法論、ぜひこれからも関心をもっていただけたら、と期待しています。
ホスピタリティ論	児玉 桜代里	14回の対面授業、お疲れ様でした。ほとんどの皆さんが事前の課題（2級過去問）や、講義中のワークやロールプレイにも真面目に取り組んでいたことは大変よかったと思います。ただ、基礎講義（過去問の答え合わせではない回）でのmanabaレポートの事後課題においては提出忘れが多く散見されました。これが原因で平常点が芳しくない結果になった学生もいたことが残念に思いました。今回、皆さんに回答していただいたアンケートは次回への参考にさせていただきます。ありがとうございました。
マーケティング論	井上 綾野	オンデマンドということもあり、みなさんにお会いできないことが残念でしたが、これを機にマーケティング関連科目に興味を持っていたら嬉しいです。
メディア・コミュニケーション論	田中 瑛	この授業では、メディア・コミュニケーションを積極的に読み解く上で重要な考え方を学びました。毎週の小レポートを含め、意欲的に課題に取り組んでくれた方が多く、授業の目標を達成できた学生が多かったと評価しました。授業評価アンケートについても高い評価をいただき、具体的な事例が出てきて分かりやすかった、授業内での小レポートのフィードバックなどがやる気に結び付いたなどの声を多くいただきました。メディアは非常に身近な問題で、さまざまな意見や物の見方が交差することで新たな課題が見つかるため、皆さんが積極的に参加して下さったことで良い授業になったのだと思います。期末レポートは授業で取り上げた内容から踏み出た思索を巡らせている意欲作も多く見られ、興味深く読ませていただきました。全体的な講評としては、授業の内容をまとめるというよりは、自分が日ごろ感じているモヤモヤを軸に展開してみると、より主体的な議論に仕上がるのではないかと思います。ぜひ、授業内で取り上げた理論や歴史を応用しながら、メディアを使い、考えてみてもらえれば嬉しいです。
メディア社会論	駒谷 真美	まず「メディア社会論」がアンケート全項目において、全体平均と当該区分平均を大きく上回る評価を得て、履修した学生たちの育ちに役立てたこと、心より嬉しく思っている。教員として今後の励みとしたい。 履修生たちは第14回まで真面目にかつ積極的に取り組んでくれた。毎回メディアに関わる重要案件について、responのイントロ・ブレイクアンケートやリフレクションシートを一生懸命に考えて回答してくれていた。特に、NHK放送文化研究所の国民的キャラクターが生まれ育つ環境と、テレビ朝日の災害報道については、ゲストスピーカー講演とフィールドワークとレポートを課題にしたが、いずれもゲストから高い評価を得ていた。 この講義を通して学んだメディア情報リテラシーを糧に、不確実性時代（VUUCA）を生き抜いてほしい。
メディア情報リテラシー	駒谷 真美	本講義は、情報社会の根幹を理論的に追究する高難易度の講義内容である。PBL・アクティブラーニング・ピアラーニングの手法を取り入れて、履修生全員が主体的に参加している。「女性とメディア」について、#MeTooや生理の貧困やルッキズムなどの最新のトピックも履修生の希望に寄り添って取り上げている。 この講義を通して、履修生たちは、メディアからの一方的な情報を鵜呑みにすることなく、次第に自分たちの視点でグループディスカッションとプレゼンを行えるまでになっていた。 履修生が個人とグループ、両方の立場で深慮しながら真摯に取り組む姿が、PBL・アクティブラーニング・ピアラーニングで促進され、本講義の目的である「クリティカル・シンキングの基盤となるメディア情報リテラシーの育成」に繋がったと考える。 その結果が、授業アンケートでは、成長実感度・自己評価・意欲取り組み度が高い数値として表れていた。履修生たちの育ちを見れて大変喜ばしい。
リーダーシップ開発B	児玉 充	PBLの実施も含め受講生の皆さんにとってより興味深いコンテンツを提供できるように努めます。

[2024 (前期) 人間社会学科 現代社会学科] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
リーダーシップ論	初見 康行	<p>本講義では、リーダーシップの代表的な理論と女性リーダーの活躍・育成について学んできました。</p> <p>多数の理論を理解するのは大変だったと思いますが、「リーダーシップのイメージが変わり、自分にもリーダーが務まると思えるようになった」というコメントがあって良かったです。</p> <p>ぜひ次は実践の場で自分なりのリーダーシップを発揮してみてください。</p> <p>最終的に「15. 総合的な満足度」の評価は4.82でした。</p> <p>また、「11. 成長実感」が4.78、「13. この分野をさらに学びたい」が4.57、「16. 意欲的に取り組んだ程度」が4.72でした。</p> <p>他学部の皆さんも含め、多くの学生が意欲的に学んでくれたようで良かったです。</p> <p>最後に、改善点として講義のスライド資料を共有して欲しいという要望がありました。</p> <p>今後改善していきたいと思います。皆さん回答ありがとうございました。</p>
ワーク・ライフ・バランス論	山根 純佳	<p>全体的に満足度が高くやりがいのある授業であった。来年度へのアドバイスなどもあったので参考にしたい</p>
英語コミュニケーションⅡA	阿佐美 敦子 ライト, アレックス	<p>オンデマンド授業は皆さんの顔が見えないので、わかってもらえているのかわることができず、いつも不安に思っています。</p> <p>「あなたはこの授業をどれくらいの割合で理解できましたか」の問いに、お一人の方が「どちらかというあてはまらない」と回答されていたことは反省すべき点でした。</p> <p>一方で、「あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか」の問いには、「とてもよくあてはまる」「どちらかというあてはまる」が9割で、嬉しく思いました。それはご自身の意欲こそが英語力の向上につながるからです。後期はさらに意欲を高めてもらえるよう努めます。</p>
英語コミュニケーションⅡA	時田 朋子 シオティーノ, アン	<p>コミュニケーションとしての英語を楽しんでいただけたら嬉しいです。英語のスキルアップを目指して後期も頑張りましょう。</p>
英語コミュニケーションⅡA	阿佐美 敦子 マルチェフ, ミレン・アングロフ	<p>オンデマンド授業は皆さんの顔が見えないので、わかってもらえているのかわることができず、いつも不安に思っています。</p> <p>「あなたはこの授業をどれくらいの割合で理解できましたか」の問いに、お二人の方が「どちらかというあてはまらない」と回答されていたことは反省すべき点でした。</p> <p>一方で、「あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか」の問いには、「とてもよくあてはまる」「どちらかというあてはまる」が9割で、嬉しく思いました。それはご自身の意欲こそが英語力の向上につながるからです。後期はさらに意欲を高めてもらえるよう努めます。</p>
英語コミュニケーションⅡA	富倉 教子 ミラー, ブルース	<p>ご協力ありがとうございました。アンケートより今学期皆さんが前向きかつ熱心に英語学習に取り組んだ様子が伺えました。今後は改善点も含め、皆さんからいただいた貴重な意見を参考に、決められた形式の中でより英語学習が効果的にかつ有意義に行えるよう引き続き努力していきたいと思ます。</p>
英語コミュニケーションⅡA	内田 里美 ミラー, ブルース	<p>Thank you to everyone who took the time to answer the class questionnaire. It was a pleasure to work with you all this past semester, and I hope everyone will continue to work together on supporting each other to help improve your speaking and listening skills in the next semester. In the meantime, enjoy the rest of the summer holidays and see you in September! (: (ミラー)</p>
英語コミュニケーションⅡA	富倉 教子 ライト, アレックス	<p>ご協力ありがとうございました。アンケートより今学期皆さんが英語の語彙、文法、読解、作文など全般にわたり学びを深め、かつ熱心に英語学習に取り組んだ様子が伺えました。今後は改善点も含め、皆さんからいただいた貴重な意見を参考に、決められた形式の中でより英語学習が効果的にまた有意義に行えるよう引き続き努力していきたいと思ます</p>

[2024 (前期) 人間社会学科 現代社会学科] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
演習Ⅱ A	駒谷 真美	<p>この講義の前半は、2年次がゼミ選択の時期であるゆえ、ゼミで学びたいことについて、卒論活動の同様のプロセスで、mindmap・文献リスト作成・文献研究・プレゼンを行った。履修生は、個々の興味関心を学術的視点で捉えるようになり、ゼミ選択の契機になっていた。</p> <p>後半は、グループワークでPBLを実施した。大学公認ラジオ番組「JJラジオ1」の応援プロジェクトをOODAループの方略で行った。2年生には高度な内容であったが、履修生は積極的に取り組み、2世代の斬新な企画を出していた。履修生たちは、毎週チームで考えた課題を試行錯誤しながら解決し、ブリーフプレゼンで途中経過を発表し、互いにフィードバックし、講義外でもディスカッションを深めて、高め合っていた。</p> <p>その結果が、授業アンケートにおいて、全体や当該区分平均値を大きく上回る高数値として表れていた。グループの企画は、着々と実現している。例えば、8月下旬のオープンキャンパスでは、①渋谷キャンパスの自販機のアンバーパネル広告をデザインし公開、②受験生へ応援メッセージ入りの花の種を配布とプロジェクトについて学部紹介でpitchプレゼンし、9月のJJラジオ1のインタビューに参加した。10月の常盤祭では③大学とJJラジオ1のキャラをデザインしたお菓子のラムネを配布、④カフェテリアのテーブル上にスタンド広告を展開する。履修生たちのPBLが机上の空論でなく、OODA Loopに基づいて、実践されている。履修生たちの育ちを見れて大変喜ばしい。</p>
演習Ⅱ A	金津 謙	<p>貴重なご意見ありがとうございます。今後の授業進行に役立てたいと思います。</p>
演習Ⅱ A	吉田 雅彦	<p>卒論に準じた形式でWordのレポートを作り、それをPPT資料に展開して、みんなの前でプレゼンするという課題を、全員やり遂げました。立派でした。</p> <p>1. 授業への感想 発表力、資料作成力がついた。 レポートの書き方や、プレゼンの力が身についた。 自分で訪問調査をして情報を集めてまとめたものを、細かくまとめることができた。 パワーポイントを使って一人で発表するのが苦手だったけど、声のボリュームも問題なくできた。 パワーポイントの資料作りに対する意識が高まった。 レポートの作成する力が以前より高まった 自らリサーチクエスチョンを掲げ、調査を行う中で思考力も身についた。 わかりやすいパワーポイントを作る力が身についた。 レポートの書き方が身についた。 今後も使える知識や経験が体験できた レポート、パワーポイント制作についての理解が深まった。 参考文献の書き方をマスターしました。 パワーポイントを使ったプレゼンを行い、これまでよりも良いプレゼンができるようになった。 課題を解決する力が身についた。</p> <p>2. その他 パソコンで作業をしていると瞬きを忘れてしまうことがあるので、授業内にある休憩時間が自分にとっては良かったです。 ありがとうございました。</p>
演習Ⅱ A	神山 静香	<p>すべての項目で肯定的な評価をいただき、また、わかりやすさの点で肯定的なコメントをいただき、ありがとうございます。特に、自分自身の成長が実感できたか、授業への満足度、授業に意欲的に取り組んだかという質問項目で高い評価をいただき大変嬉しく思いました。今年度の評価は次年度に活かしていきたいと思えます。</p>
演習Ⅱ A	山根 純佳	<p>予習・復習の回答にばらつきがあるので、その点工夫したい</p>
演習Ⅱ A	高橋 美和	<p>多文化共生系のテーマでグループワーク・個人ワークをやっていただきましたが、レポートの書き方やプレゼンの仕方でも自己成長を感じただけでなく、「授業のテーマに興味を持たず／関心が無いテーマだったが新しく学べてよかった」等々の感想を多数いただき、嬉しい驚きでした。一方、アンケートの数値のなかで、「授業進捗のスピード」の評価が平均をちょっぴり下回っていたので、提出物の締切設定に若干問題があったのかもしれない。今後の改善点として受け止めます。</p>
演習Ⅱ A	標葉 靖子	<p>入門書ではありましたが、事前に作成した読書ノートをもとにグループでディスカッションしていく講義は、学術書を丁寧に読み解き、自らの意見を論理的かつ解像度高く明かにしていく良い練習になるものです。普段馴染みのない分野（本演習の場合は「生命倫理」）だったかもしれませんが、皆さんの視野を広げると共に、広く「読む」「対話する」力の涵養になっていることを期待します。</p>
演習Ⅱ A	粟津 俊二	<p>総合的な満足度の平均値が4.9ですので、授業の進め方に問題はなかったと思えます。みなさん、よく頑張りました。</p>

〔2024（前期）人間社会学科 現代社会学科〕授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
演習Ⅱ A	時田 朋子	テーマを決めてじっくりと取り組むという今期の活動はいかがでしたか。この学びを他の授業でもぜひ生かしてください。
演習Ⅱ A	篠崎 香織	消費社会を生きるなか、消費とその逆のアップサイクル（使えるまで使う）の両方について考える授業を設定しました。特にアップサイクル案については、ストーリーまで含めて考える、とても大変な作業になりましたが、よくついてきてくれました。 今回養われた力は、きっと「考え続ける」機会にまたであったときに生きてきます。 本当にお疲れ様でした。ありがとうございました。
演習Ⅲ A	角本 伸晃	「15. 総合的に判断してこの授業に満足しましたか？」について4.33と昨年度の4.67よりも下がりました。 「13. この科目（系・分野）をさらに学びたいと思いませんか？」については5.00と満点でした。 この差は、実際の授業でまだまだ学び足りなかったことを意味していると思うので、より充実した演習を心がけたいと思います。
演習Ⅲ A	篠崎 香織	前期の輪読で、随分戦略の理解が深まったのではないかと思います。ゼミの仲間とも打ち解けて来たと思いますので、引き続き磨き合っていきましょう。
演習Ⅲ A	時田 朋子	専門ゼミとなり、準備に加えて発言も求められ大変だったかもしれませんが、4月に比べて大きく成長したと思います。後期はプロジェクトを実施します。楽しく頑張りましょう。
演習Ⅲ A	初見 康行	演習Ⅲでは「女性の仕事・働く」をテーマにゼミ運営をしてきました。特に前期中はフィールドワークを2回行い、最後に自分が興味ある業界・企業・仕事について発表をしてもらいました。ゼミ運営自体が手探りの中、みなさん頑張ってくれてくれたと感じています。 今後は皆さんの方からも、参加したいイベントやゼミの運営方針について積極的に意見を貰えると嬉しいです。 就職活動も含めて、後期も頑張っていきましょう！
演習Ⅲ A	坊 隆史	アンケートのご協力をありがとうございます。 ほぼ全ての項目で全体平均より良い評価をしていただき安堵しています。前期は交流ワーク等のワークショップ型だったため「予習復習」がほとんどありませんでした。後期以降は発表準備、レポート作成などの授業外学習の時間が増えます。引き続き、頑張っていきましょう。
演習Ⅲ A	吉田 雅彦	楽しく学べました
演習Ⅲ A	原田 謙	前期はフィールド分析、PBLの企画準備など、よく頑張りました。 後期は夏休みの調査内容を発展させて、ゼミ論文を仕上げましょう。
演習Ⅲ A	阿佐美 敦子	全体的に満足度の高い回答結果を得られたことを、嬉しく、また有り難く思います。発表のための調査は各国の方々から話を聞かねばならず、決して容易ではないのに、皆さん、よく頑張ってくれました。ありがとうございました。 全員から「この授業に満足した」「この授業に意欲的に取り組んだ」という自己評価の高い回答をしたことも、とても嬉しく思います。
演習Ⅲ A	蔭 飛鴻	平均よりやや下回った項目がありますが、全体的には平均より高い項目は多いです。今後もよい講義ができるように、さらに工夫して実施したいと思います。ご回答をどうもありがとうございました。
演習Ⅲ A	粟津 俊二	総合的な満足度の平均が4.8ですので、授業の進め方に問題はなかったと判断します。
演習Ⅲ A	富田 望	前期は、臨床心理学、認知行動療法、心理学研究法の基礎について、発表やディスカッションを通して深く学ぶことができたと思います。各自が関心のある研究テーマの発表時には、1人1人興味深いアイデアを挙げていて大変嬉しく思いました。後期からは、論文の抄読を通して心理学研究法についてより深く学んでいきますが、楽しむ気持ちを忘れずに、皆さんと勉強ができればと思います。

[2024 (前期) 人間社会学科 現代社会学科] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
演習Ⅲ A	駒谷 真美	<p>全体的にゼミ生は、4月当初から個人の卒論活動・グループでのラジオ番組制作活動、ともにかなり意欲的に進めている。</p> <p>個々の卒論活動では、自分の卒論テーマについて先行研究や文献にあたり、最終的にオリジナリティに富んだテーマを選定できていた。この試行錯誤のプロセスを体験したことで、今後の卒論や就活活動に際してのレジリエンスにつながってくれるだろう。</p> <p>グループとして大学公認ラジオ番組「JJラジオ1」の活動においては、月毎の担当グループが、メインパーソナリティとして、工夫しながらベストを尽くしている。メディアゼミの一員として、番組公式インスタの多角的な展開やJJ Timesの執筆など更なる高みを目指して奮闘している。</p>
演習Ⅲ A	広井 多鶴子	<p>予習、復習の時間が長く、理解度も高く、成長を実感できているようです。みなさんが真摯に取り組んだことがわかります。</p> <p>前半はグループワークでしたが、グループで協力して発表ができました。とてもよかったと思います。</p> <p>課題が直前で大変だったという意見がありましたので、今後改善したいと思います。</p>
演習Ⅲ A	神山 静香	<p>すべての項目で肯定的な評価をいただきありがとうございました。特に、自分自身の成長が実感できたかという項目や満足度の点でよい評価をいただき嬉しく思いました。いただいた評価は次年度に活かしていきたいと思えます。</p>
演習Ⅲ A	井上 綾野	<p>課題が多い中でしっかりと取り組みができていましたね。この調子で後期も頑張ってください。</p>
演習Ⅲ A	山根 純佳	<p>回答件数が少なかったので、回答への声かけを努力したい</p>
演習Ⅲ A	竹内 光悦	<p>数値的には悪くないとは思いますが、少し残念にも感じます。何か気になることがあれば適宜、連絡ください。</p>
演習Ⅲ A	標葉 靖子	<p>ゼミ・個別相談で適宜対応済みです。</p>
演習Ⅲ A	高橋 美和	<p>校外学習やゲストを招いての授業など、アクティブな内容に加え、文献輪読やグループ発表なども組み合わせ、なかなか多忙な前期だったと思いますが、全員よくついてきてくれました。前期の学びを土台に、後期では卒業研究にむけてがんばっていきましょう！</p>
演習Ⅲ A	竹内 美香	<p>演習Ⅲは年間を通じて、心理学研究の一通りのスキルを体験的に学ぶことをして頂いています。</p> <p>前期は調査で収集した生のデータを加工して、そこからどのようなことが言えるのか、調査企画の段階で立てた研究仮説を、数値からどのように検証するのか、報告書として第三者に供するにはどのような分析の仕方や書き方があり得るのか、体験して頂く機会を設けたつもりです。</p> <p>地道のひとつで!!! あまり楽しくなかったと思いますが、身近なExcelを「使い倒す」体験が出来たと思います。それをする以前の「あなた」と体験した「あなた」。何も変わらないようできて、とても違うはず。大概のデータ解析なら大丈夫!!! と自信をもってください。</p> <p>これから先行の学術論文を読みます。</p> <p>そのことでまた科学としての心理学の習得に一步步近づくはず。地味なのですが、実はとても大切な心理学研究の基礎力の獲得を目指しています。自信をもって、頑張りましょう。</p> <p>ゼミ生の取り組みはいつも真摯で、教員も励まされています。</p>
演習Ⅲ A	金津 謙	<p>貴重なご意見ありがとうございます。今後の授業進行に役立てたいと思います。</p>
演習Ⅳ A	井上 綾野	<p>卒論を中心にしっかり取り組むことができていました。この調子で後期に仕上げられるよう頑張りましょう。</p>
演習Ⅳ A	時田 朋子	<p>後期は卒論を書き上げます。引き続き、がんばりましょう！</p>
演習Ⅳ A	阿佐美 敦子	<p>まず10名のクラスに対して回答者が3名であったことは、私の説明不足が原因と思われる。来期には全員に回答してもらい、全体像を把握できるようにします。</p> <p>回答された方々は、全員が「この授業に意欲的に取り組んだ」と述べていることは有り難いと思います。これからも皆さんのモチベーション維持、向上に努めます。</p>
演習Ⅳ A	粟津 俊二	<p>回答者数が1でしたので、コメントは差し控えます。</p>

〔2024（前期）人間社会学科 現代社会学科〕授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
演習Ⅳ A	高木 裕子	卒論他に関して、「前期」でご計画のどこまで達成できたでしょうか。「後期」はいよいよ総仕上げです。いい作品を作り上げてください。
演習Ⅳ A	神山 静香	すべての項目で肯定的な評価をいただきありがとうございました。いただいた評価とコメントは、今後の授業に活かしていきたいと思います。
演習Ⅳ A	初見 康行	演習Ⅳでは「人的資源管理」および「女性の仕事・働く」をテーマにゼミ運営をしてきました。4年生から指導教員が変わるという大変な状況の中で、ゼミ生全員が卒論のテーマを決定することができて良かったです。後期はいよいよ卒論の執筆&発表になります。後悔のない卒業論文が提出できるように頑張ってください！
演習Ⅳ A	蔭 飛鴻	総合評価では全体平均の4.40に対して、この科目は5.00と高くなっております。今後もよい講義を継続できればと思います。ご回答をどうもありがとうございました。
演習Ⅳ A	金津 謙	貴重なご意見ありがとうございます。今後の授業進行に役立てたいと思います。
演習Ⅳ A	竹内 美香	卒業研究、「卒論」の進捗はいかがでしょう。 日常の心理的事象を考えて調べてテーマを決め、仮説を立てて、質問項目を収集して調査企画を具体化し、GoogleFormsを仕込み、第三者に回答してもらうまで。前期は短い期間にずいぶん忙しかったのではないかと思います。企業の企画・調査業務のうち「調査プロジェクト」の調査実施段階までが前期間の工程でした。データを収集したらそのデータのverify作業やクリーニング作業をして、システム部に処理を発注します。システム部は指示された解析は請け負いますが「報告書」を書いてくれる部門ではありません。ここから先は企画調査職である皆さんそれぞれが解析データを基に書かなければなりません。 ・・・・という作業工程を経験して頂いたのですが、いかがですか？ これが「自走」できるようになると、企画調査スタッフとして仕事ができるようになります。一段階ずつ、まだまだ何をしているのかわかりにくかったかもしれませんが、最後まで通すとそれぞれの工程の意味や価値が理解できると思います。 卒論を書く、というのは簡単ではありませんが、なかなか意味ある経験です。頑張りましょう。
演習Ⅳ A	坊 隆史	アンケートのご協力をありがとうございます。1名のみの回答でしたが今後の演習Ⅳの進め方の参考にさせていただきます。引き続き、卒論完成に向けて頑張ってください。
演習Ⅳ A	角本 伸晃	昨年度はアンケートの回答が0でしたが、今年は5人ありました。「15. 総合的に判断してこの授業に満足しましたか？」は4.60と全体平均の4.40より高かったです。後期は卒論の完成がゴールです。全員の完成を目指したいと思います。
演習Ⅳ A	吉田 雅彦	楽しく学べました
演習Ⅳ A	駒谷 真美	今回は回答者が11人中3人であったため、統計的なフィードバックは差し控える。4年前期は就活時期であり、今年の4年生も丁寧に準備をしてきて、果敢に挑戦し、前期は正念場であったためと推察する。この大変な時期においても、ほぼ2週間に1回の割合で全員が個別指導（対面やZoom）に出席し、卒論研究を継続してくれている。
演習Ⅳ A	標葉 靖子	ゼミ・個別相談で適宜対応済みです。
演習Ⅳ A	竹内 光悦	回収率の低さが気になりますが、またゼミに関して気になることがあれば適宜、連絡してください。いよいよ最終セメスターですね。頑張りましょう。
演習Ⅳ A	山根 純佳	欠席が減るように声かけ等やオンラインでの開催など工夫したい
演習Ⅳ A	原田 謙	就活と並行して卒論準備も、皆さん良く頑張りました。後期は満足できる卒論を仕上げましょう。
演習Ⅳ A	高橋 美和	全員でのグループワークと卒論の個人指導を組み合わせた授業を実施しました。バランスとしてはちょうどよかったかなと思います。お一人お一人に対し卒業研究の助言・指導に十分な時間を取れたので、満足度も高いという結果になりました。

[2024 (前期) 人間社会学科 現代社会学科] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
演習ⅣA	篠崎 香織	前期のうちに深く考える時間がとれて、方向性が見えてきた人が多いと思います。 後期はさらに時間の経過がはやく感じますので、計画的に卒業研究を進めていきましょう。
演習ⅣA	広井 多鶴子	予習時間が長く、成長も実感できているようです。「構想を考えることができた」「文章力や書き方が身についてきた」「情報収集力が身に付いた」「論理的に考えることができるようになった」といった感想が寄せられています。 ただ、他のメンバーの発表から学ぶことができたという声がある一方、自分の発表でない授業はモチベーションが上がらなかったという意見もありました。発表者以外も授業に参加できるように工夫したいと思います。
家族社会学	広井 多鶴子	「この科目(系・分野)をさらに学びたいと思いましたか」という設問の回答がとくに高得点になっていたことは、嬉しい限りです。自由記述でも、そうした記述がありました。現在の家族の在り方に関心を持ってもらえたのではないかと思います。 人数が少なかったので、時々グループワークの時間をもちましたが、他の学生の意見を聞いて良かったという感想がありました。今後もそうした機会を設けていきたいと思います。
会計学総論Ⅰ	蔣 飛鴻	総合評価では全体平均の4.40に対して、この科目は4.67と高くなっており、すべての項目においても平均をかなり上回っています。今後もよい講義を継続できればと思います。ご回答をどうもありがとうございました。
学習・言語心理学	間野 陽子	学習・言語心理学では、語彙、読み書きの発達、単語認知、文や文章の理解、言語に関連する脳領域、言語心理学の応用などについて学びました。言語は、他者とのコミュニケーションや、社会の中で生きる上で重要な認知機能です。みなさんのコメントでも、身近に感じて興味深かったとコメントされた学生さんがとても多かったです。学習・言語心理学での学びは、自分なりの考えを持って、表現することに役立ちます。仕事やプライベートにおいて、みなさんが学んだ知識を活用されることを楽しみにしています。
観光事業論	角本 伸晃	各項目は当該区分平均よりも少し高い評価でした。特に、「15. 総合的に判断してこの授業に満足しましたか?」について4.47と全体平均の4.40より高い評価となりました。 来年も引き続き、観光関連の企業の方を招いて、興味のわく講義を心がけたいと思います。
経営分析論	蔣 飛鴻	総合評価では全体平均の4.40に対して、この科目は4.50と高くなっており、すべての項目においても平均をかなり上回っています。今後もよい講義を継続できればと思います。ご回答をどうもありがとうございました。
経済発展論	角本 伸晃	各質問項目の評価は全体平均と大体同じでしたが、 「15. 総合的に判断してこの授業に満足しましたか?」は4.36で昨年度の4.17より少し上昇しました。 経済系の科目は評価が辛めにつくのですが、数式やグラフの理解は欠かせないので、分かりやすい講義を心がけていきたいと思います。
経済法	金津 謙	貴重なご意見ありがとうございます。今後の授業進行に役立てたいと思います。
現代教育論	井出 大輝	授業の内容や課題の量が多かったことや、説明が不足していたことなど、反省点はありますが、受講者の皆さんが熱心に取り組んでくださり、無事授業を終えることができました。さまざまな視点で、現代の教育問題について、議論や考えを深める機会になったとのコメントも複数頂いて、この授業の務めを一定程度は果たせたのではないかと少しホッとしています。アンケートの結果を今後の教育活動にいかしてまいります。ご回答、ありがとうございました。

[2024 (前期) 人間社会学科 現代社会学科] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
企業戦略論	吉田 雅彦	<p>2024年度から新しい教材を採用し、インキュベーションマネジャー・コーディネーターが、スタートアップ企業や中小企業のイノベーションを支援する実務に関わる人たちの活動を学びました。受講生からは以下のような感想をいただきました。</p> <p>1. 企業戦略の実践に関して 企業努力を知ることができた。 IM・CDの仕事についての知識が高まった。 企業への支援について理解が深まった。IM・CDの仕事について知ることができた。 今まで知識のなかったことを学んだため、一から知ることができた。 課題発見力が身についた IMについて理解することができた。また、仕事をするうえで人間関係は非常に重要であることがよくわかった。 論理的に考える力が身についた。 国際的に活躍する企業の背景や、企業を支える個人個人がどのような思いを持って始めたのかがコラムを読むことによって理解が深まってよかった。 企業戦略について実際のエピソードを読んで学ぶことが増え、経営に関する支援の存在を知ることができた。 佐藤さんの考え方によって、起業する際の精神的な持ちようや考え方を学ぶことができた。 目標をたて自分から積極的に行動することの大切さを様々な人のコラムを読んで学ぶことができた。 起業というものが漠然としていたが、具体的にイメージできるようになった。また、新しい職業を知ることができた。 色々な人の事例があり、勉強になった。 毎回の授業で知らないことをたくさん学ぶことが出来て、とても楽しかったです。</p> <p>前期間ありがとうございました! とても興味のある講義だったので、履修出来て良かった。</p> <p>2. シリコンバレー シリコンバレーについて詳しく学習できたことは、将来的に企業を立ち上げようと考えている私にとって非常に有益なものだと感じた。</p> <p>3. 改善要望 資料が多くて、最初ダウンロードに時間がかかった。 ← 工夫します。</p> <p>文章だけではわかりにくい部分があった。 ← 工夫します。</p> <p>読む資料が長すぎて大事なポイントがわかりにくい。 ← スタートアップ、イノベーション、その支援も容易ではなく、何年もかけている事業なので、長くはなります。</p>
公認心理師の職責	富田 望	<p>この授業は、公認心理師の業務を理解するための基礎となる科目ですが、全体的に理解度や成長感が高く、多くの学生が授業の目標を達成したように感じました。毎回の事後学習においても、各自が学んだことや考えをしっかりと表現しており、素晴らしいと感じています。</p>
行動科学	坊 隆史	<p>アンケートのご協力をありがとうございます。 ほぼ全ての項目で全体平均より良い評価をしていただき安堵しています。唯一「予習復習時間」が全体平均より短くなっていました。講義系科目は語学系科目や演習科目と比較すると、どうしても予習復習時間が短くなってしまいますが、次年度はもう少し復習時間が増えるように検討します。</p>
国際NGO論	神山 静香	<p>オンデマンド形式での実施が初めてであったため、例年行っている事業プランニングに関する対面でのグループワークやディスカッションができなかった点は残念でしたが、すべての項目で肯定的な評価をいただきありがとうございます。社会的課題の解決手法に関する知識修得の点で、肯定的なコメントをいただきましたので、今後の授業に活かしていきたいと思っております。</p>
国際関係概論	神山 静香	<p>ほとんどの項目で肯定的な評価と多くの肯定的なコメントをいただき、ありがとうございます。初めてこの分野を学ぶ方も多く、理解度の点で「難しい」との回答がありましたので、この点について、次年度の課題としたいと思います。また、授業の際には、一部の方の私語が授業の妨げになるとの声が多数ありましたので、次年度は、授業に集中できる環境を保つよう準備したいと思います。</p>
産業・組織心理学	坊 隆史	<p>アンケートのご協力をありがとうございます。 ほぼ全ての項目で全体平均より良い評価をしていただき安堵しています。唯一「授業の進むスピード」の評価が全体平均より低くなっていました。これは内容量が多かったため進捗が速かったからかと推察します。次年度はもう少し内容量をブラッシュアップして改善します。</p>

[2024 (前期) 人間社会学科 現代社会学科] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
経済学概論	吉田 雅彦	<p>ミクロ経済学、マクロ経済学の基礎として、十分に高度な内容まで踏み込みましたが、94%の受講生がマスターできました。立派でした。受講生から以下のようなコメントを多数いただきました。授業に工夫をこらしてきたので、評価されてうれしいです。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 経済学の基礎知識が身についた。 ミクロ経済学についての理解が深まった。ミクロ経済学、マクロ経済学の基礎が身についた。基本的な経済の知識が身についた。経済学における、グラフや図の解釈がわかるようになった。図を見ながら、説明する力や論理的に考える力が身についた。 2. わかりやすかった。学びやすかった。 毎回の授業で復習の時間があったので何度も読み返すことで難しい内容も少しずつ理解することが出来ました。配布資料が分かりやすかったです。 3. 高校・大学・社会人連携教育 社会に出たときに使えるビジネス用語を多く知ることができ、ミクロ経済学やマクロ経済学について最初の授業よりは理解が深まった。 4. グループワーク 経済学を全く知らない状態から始めたが、資料を見て論理的に考えようとグループワークもしたりして少しずつ理解を深めることができた。 5. 企業の方の講義 他企業の講義を受けられるのは、とてもいい経験でした。 6. 改善要望 改善を希望する点としては、レスポンの問題が表示されているものと違うところがある点です。 ← 気をつけます。 <p>レスポが多く、同時に何個もきてしまうため、設問を解く時間がもう少し欲しいと思った。 ← 9割の学生が回答したところで、先に進んでいます。なので、1割の人にとっては時間が足りないと思います。予習・復習をお願いします。</p> <p>もう少し学生に興味を引くような話、雑談も含めると意欲的に取り組めると思いました。 ← 検討します</p>
産業経済論	角本 伸晃	<p>「15. 総合的に判断してこの授業に満足しましたか？」は昨年度の4.00から4.47とかなり高くなりました。 カリキュラム改革で、この科目は今年度で終了します。 履修者の皆様、ありがとうございました。</p>
社会ネットワーク論	松下 慶太	<p>全般的に高い評価をいただいています。オンデマンド型でそれぞれのペースで学習できたこと、コンテンツ量・課題量もバランスがよかったことなどが理由かと思われます。次年度に向けて授業で紹介した事例をより新しいものに、また今年度学生から出してもらった事例を反映するなどアップデートして授業コンテンツのより充実をしていきたいと思えます。</p>
社会科学データ分析	竹内 光悦	<p>おおむね悪くない結果で良かったです。次年度から別の先生に交代になりますので、引き継いでおきます。</p>
社会学概論	原田 謙	<p>皆さんの成績評価は、Bが最も多く、以降A、C、+Aの順になりました。 授業のスピードや話の分かりやすさなどの項目は4.6点を超えており、比較的高評価だったようです。1年生の皆さんは、来年度以降、詳しく学びたいと思った社会学の選択科目をぜひ履修してください。</p>
社会言語学	高木 裕子	<p>社会言語学という分野とそこでの調査・研究方法について、特に分析でのポイント、どこに注目して活用するのか、できるのか、理解できましたでしょうか。広範囲にわたるこの分野が少しでも理解できたのなら、世界や世の中の見方は変わるでしょうね。そのような役に立つ分野になるように、これからも努力していきます。</p>
社会調査概論	竹内 光悦	<p>おおむねよい評価となっていますので、良いのですが、この分野にもう少し興味を持つようにできればと思います。自由回答はほぼポジティブ意見だったので、ほっとしています。</p>
社会調査実習 I	竹内 光悦	<p>全体的に評価としては良いのですが、例年と比べると「受け身」での受講態度の学生がいることを感じていました。実習ですので、これまでに習ったことの活用が主となりますので、後期はもう少し一歩前に進めて欲しいと思います。ちなみに調査系の授業にもかかわらず回収率の低さは気になります。</p>
女性と労働	山根 純佳	<p>パワポの資料の作り方を工夫したい</p>

〔2024（前期）人間社会学科 現代社会学科〕授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
商法概論	神山 静香	すべての項目で肯定的な評価をいただきありがとうございました。自分自身の成長を実感した、授業への満足度等、すべての項目で肯定的な評価をいただきありがとうございました。法律科目のため、配布資料での情報量、文字量が多くなる傾向があります。その点について、次年度、工夫をしたいと思えます。
消費者保護論	金津 謙	貴重なご意見ありがとうございます。今後の授業進行に役立てたいと思えます。
情報セキュリティ	駒谷 真美	「情報セキュリティ」では、セキュリティの基礎知識・サイバーインシデントの最新動向・生成AIの利便性と危険性についてオンデマンドの講義スタイルで行った。履修生はグループごとに課題をmanabaプロジェクトに提出した。その課題のフィードバックも入れて次回講義を行い、オンデマンドではあるが、少しでもインタラクティブな展開ができるように構成した。その結果、自己評価と意欲向上度が上がったのは、まさしく履修生たちが得た達成感の表れであろう。情報セキュリティの中でもAIという最新かつ未知の領域にも果敢に最後まで取り組んでくれた履修生たちには、今後も自信を持って進んでいってほしいと強く望んでいる。
心理学概論	竹内 美香	14回の授業も終わってみるととても早く過ぎたと思っています。各単元、できるだけ日常場面で見かけるような事例も交えて、とにかく「なるほど」と感じて頂けるように説明しました。説明が長くなる時もあるが、少し「待たされている」感じがした人もいたかもしれません。「なるほど」とわかったら、その次の課題は、「あなた」が自発的に課題事象を見つけて、自問して、考察する、そのような行動を習慣化することです。心理学概論は入り口です。心理学にはいろいろな研究事項があり、奥は深い。これから情報処理システムの体系としての人間や動物に目を向け続けてください。心理学研究の方法論は論理的で、日常生活場面での問題解決にも応用できる幅広さがあります。これからも学び続けてください。さて、第一課題と第二課題を最終レポートとして、1カ月以上前から出題しました。今期は第二課題を提出しなかった受講生が例年より多く出現していて、教員としては心配になりました。最終課題の未提出とワークシート提出の欠損が重なると、どうしても「失点」が重畳します。しっかりすべて完遂している受講生さんもありますので、そのことにも目を向けてください。時間の使い方が1年生が大学入学して身に付けるべき重要課題の一つであることは間違いないようです。
心理学研究法	坊 隆史	アンケートのご協力をありがとうございます。ほぼ全ての項目で全体平均より良い評価をしていただき安堵しています。唯一「授業の進むスピード」が全体平均より低い評価でした。今回のアンケート結果のみでは早かったのか遅かったのか不明ですが、次年度は授業のテンポについて配慮することになります。
心理学実験 I	粟津 俊二	総合的な満足度の平均値が4.76と高いので、授業の進め方に問題はなかったと思います。みなさん、よく頑張りました。
心理実習	竹内 美香 粟津 俊二 富田 望 坊 隆史	前期間の「心理実習」研修・見学では、事前・事後の課題も含めてなかなか分厚い取り組みが求められ、「話に聞いてはいたけれど大変」と感じた方も多かったかもしれません。現場の専門家の方々と触れ合って、リアルなお話を聴いたり現場に触れる機会が得られたのは、とても恵まれていましたね。「心理実習」のプログラムは後期もまだまだ続きます。日頃から体調には気をつけて、最後まで予定が完遂できるように、一緒に頑張りましょう。
心理的アセスメント	富田 望	アンケート結果では、学生のほぼ全員が授業内容を十分に理解できたと感じることが分かりました。積極的に授業に参加できた、楽しく授業を受けることができた、体験的な理解が深まったというご意見もいただけて嬉しく思いました。今後は、予習復習時間を皆さんが十分に確保できるよう、課題の提示を工夫していきたいと思えます。
人間社会学入門	高橋 美和 竹内 光悦 広井 多鶴子 駒谷 真美 神山 静香 井上 綾野 標葉 靖子 筒井 晴香 田中 瑛 今田 一希	アンケートの結果では、他の科目と比べ、欠席回数が少なく、かつ、予習復習の時間が長くなっていました。みなさん真摯にこの授業に取り組んだものと思えます。他方、説明や配布資料の分かりやすさという点では、やや他の授業よりもポイントが低くなっています。オンデマンド授業の制約はありますが、より分かりやすい授業になるよう、工夫していきたいと思えます。自由記述欄では、幅広く学べた、考え方の幅が広がった、現代社会の様々な問題を自分ごととして捉えることができるようになった、人間社会学部に関する理解が深まった、文章を書く力が付いた等々、とてもいい感想がたくさん寄せられました。この授業は「入門」ですので、様々な分野の中から自分の課題を見つけ、思考を深めていってください。

[2024 (前期) 人間社会学科 現代社会学科] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
人材開発論	初見 康行	<p>本講義では「人材開発」をテーマに、人材の育成手法や企業の育成事例について学んできました。</p> <p>座学中心かつ10名という少人数の講義でしたが、「企業における人材開発や組織開発の手法に関する知識を学ぶことができた」、「人を成長させるための働きかけなど学べて良かったです」などのコメントをもらうことができました。</p> <p>ぜひ本講義をきっかけにして、企業における「人材育成」の問題に関心を持ち続けてもらえれば嬉しいです。</p> <p>最終的に「15. 総合的な満足度」の評価は4.86でした。</p> <p>また、「11. 成長実感」が4.71、「13. この分野をさらに学びたい」が4.71、「16. 意欲的に取り組んだ程度」も4.71でした。</p> <p>1限の講義にも関わらず、ほとんどの学生が休まず意欲的に学んでくれて良かったです。</p> <p>改善点として、「10. 担当教員の声や言葉は聞き取りやすかったですか?」の項目が4.29であり、平均の4.46を下回っていました。今後改善していきたいと思います。皆さん回答ありがとうございました。</p>
人的資源管理	初見 康行	<p>本講義では「人的資源管理」をテーマに、人が職場でいきいき働くための機能やマネジメントの在り方を学んできました。</p> <p>座学中心の講義でしたが、「人事の仕事に興味を持つことができた」、「最初はあまり興味がなかったが、人材系に就職するのも良いかも思えるようになった」などのコメントがあって良かったです。</p> <p>ぜひ企業における「人」の問題に関心を持ち続けてもらえれば嬉しいです。</p> <p>最終的に「15. 総合的な満足度」の評価は4.89でした。</p> <p>また、「11. 成長実感」が4.89、「13. この分野をさらに学びたい」が4.83、「16. 意欲的に取り組んだ程度」も4.78でした。</p> <p>多くの学生が意欲的に学んでくれたようで良かったです。</p> <p>改善点として、講義のスライド資料を共有して欲しいという要望がありました。</p> <p>今後改善していきたいと思います。皆さん回答ありがとうございました。</p>
多文化社会論	高橋 美和	<p>数値としては平均的で、特に問題はなかったものと思います。国内外の社会を取り上げた授業でしたが、「日本で暮らしているだけだとわからないことを知ることができた」のような感想を多数の方からいただき、手ごたえを感じました。一点、授業資料（パワポ）の一部が、わかりにくいというご指摘もいただきました。改善したいと思います。</p>
知覚・認知心理学	間野 陽子	<p>知覚・認知心理学では、人の感覚・知覚、認知、記憶、理解、思考等の仕組みと障害について学びました。これらの認知機能は、日常生活において、必要不可欠なものばかりです。授業で学んだ内容は、みなさん身近な事柄として捉えることができたようです。知覚・認知心理学での学びは、日常生活において、自分自身の思考や行動についての理解を深め、さらに自己と他者との違いを理解することに役立ちます。みなさんが学んだ知識を、自分自身について見つめなおしたり、問題が生じたときの解決方法や意思決定の仕方、社会の中での多様性を理解することに役立てていただければ幸いです。</p>
地域社会学	原田 謙	<p>成績評価は、B評価がもっとも多く、続いてA、C、+Aの順になっていました。</p> <p>スピード、聞き取りやすさなどは、4.5点を超過しており、比較的高評価だったようです。皆さんのresponの回答も、授業進行上とても参考になりました。</p>
特別講義 A	初見 康行	<p>本講義では「業界・企業研究」をテーマに、将来の職業選択・就職活動の準備を行ってきました。</p> <p>また、オンラインで業界・企業研究イベントにも参加し、実践力を養ってきました。</p> <p>その結果、「講義を通して自分が何をしたいのか少しづつ見えてきました」、「将来について深く考えるきっかけとなった。原動力となった」などのコメントをもらうことができました。</p> <p>ぜひ本講義を通して、自分が本当にやりたい仕事・職業を見つけていってもらえれば嬉しいです。</p> <p>最終的に「15. 総合的な満足度」の評価は4.78でした。</p> <p>また、「11. 成長実感」が4.70、「13. この分野をさらに学びたい」が4.70、「16. 意欲的に取り組んだ程度」は4.62でした。</p> <p>多くの学生が意欲的に学んでくれたようで良かったです。</p> <p>改善点として、スライドのスピードが早い時があるなどの指摘がありました。</p> <p>ノートテイキングの時間がしっかり取れるように今後改善していきたいと思います。皆さん回答ありがとうございました。</p>

[2024 (前期) 人間社会学科 現代社会学科] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
発達心理学	竹内 美香	オンデマンド型の科目は、自律的に取り組む「強さ」や「粘り」が必要です。たくさん受講者が最後の第一・第二課題の提出まで完遂してくださって、教員としては安堵しました。「発達心理学」は心理学の中でもいろいろな事象に触れることのできる領域で、担当者としても好きな科目です。さらに学びたいという方は、ぜひ j-stage など文献検索サイトを上手に活用して、よりリアルな学術論文をお読みください。(他大学の学生さんも、そのようにしてご自分の見識を広げています。) また対面で一緒に学びましょう。
福祉心理学	間野 陽子	福祉心理学では、家庭、障害、高齢者などをはじめとする福祉分野の心理社会的諸問題の歴史、現況、支援制度について広く学びました。どれも身近に存在する問題として、みなさん大変親身になって考えることができました。福祉心理学での学びは、福祉を必要としている人への対応の仕方や、自分自身が福祉を必要とする場面に遭遇した時などに、自分なりの考えを持って、行動に移すことに役立ちます。仕事やプライベートにおいて、みなさんが学んだ知識を活用されることを楽しみにしています。
文化人類学	高橋 美和	数値としてはほぼ平均的でしたが、「文化相対主義が理解できた」「異文化の話がおもしろかった」といった感想が多く、授業を理解した上で、楽しんで取り組んでいたように嬉しいです。一方、単位修得に至らなかった方が若干多めで、そこが残念でした。
簿記論 I	小澤 康裕	おおむね例年通りの結果でしたが、まだ改善の余地はありますので、今後もしっかり対応していきたいと思います。
簿記論 I	蔣 飛鴻	総合評価では全体平均の4.40に対して、この科目は4.61と高くなっており、すべての項目においても平均をかなり上回っています。今後もよい講義を継続できればと思います。ご回答をどうもありがとうございました。
法律学概論	金津 謙	貴重なご意見ありがとうございます。今後の授業進行に役立てたいと思います。
流通サービス論	井上 綾野	専門用語が多い中で、しっかりと取り組めていたと思います。この授業を機に流通業に興味を持っていただけたら嬉しいです。
臨床心理学概論	富田 望	アンケート結果から、皆さんの理解度や成長感が高いことが明らかになりました。この授業では、実践的な学びを狙いとして、模擬事例を用いたワークや生活への応用を考えるワークを実施しましたが、自由記述欄では、グループワークで考え方が広がったというご意見や、ストレス対処法など生活に応用する視点が身に付いたというご意見が見受けられ、大変嬉しく思いました。一方で、予習・復習に費やす時間には個人差が見られたため、今後はより具体的に課題を設定するなど、時間の確保を促す工夫をしていきたいと考えています。